

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2017-55769(P2017-55769A)

【公開日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-252390(P2016-252390)

【国際特許分類】

C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/68	(2006.01)
G 0 1 N	37/00	(2006.01)
C 1 2 M	1/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 N	15/00	F
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/68	
G 0 1 N	37/00	1 0 2
C 1 2 M	1/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月19日(2017.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乳癌患者における乳癌の再発を伴わない長期生存の可能性を予測する方法であって、

前記患者から得た乳癌腫瘍試料におけるユビキチン結合酵素UBE2C(UBE2C)のRNA転写物のレベルを決定するステップと、

UBE2Cの前記RNA転写物の前記レベルを、前記試料における少なくとも1つの参考遺伝子のレベルに対して正規化して、UBE2C RNAの正規化されたレベルを得るステップと、

正規化されたUBE2C RNAの発現が前記患者の乳癌の再発を伴わない長期生存の可能性を示すように、前記患者の乳癌の再発を伴わない长期生存の可能性を予測するステップと

を含み、

ここで、UBE2C RNAの正規化されたレベルの上昇が、乳癌の再発を伴わない长期生存の可能性の増加と負に相関する、方法。

【請求項2】

UBE2Cの前記RNA転写物の前記レベルが、全トランスクリプトーム配列決定、逆転写ポリメラーゼ連鎖反応(RT-PCR)、またはアレイによって決定される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記乳癌腫瘍試料が、固定し蠅に包埋した組織試料である、請求項1または2に記載の方法。

**【請求項4】**

前記乳癌腫瘍試料が、細針生検試料である、請求項1または2に記載の方法。

**【請求項5】**

U B E 2 C R N A の前記正規化されたレベルの前記レベルに基づいて報告書を作成するステップをさらに含む、請求項1、2、3または4に記載の方法。

**【請求項6】**

前記乳癌患者が、エストロゲン受容体（E R）陽性乳癌患者である、請求項1～5のいずれか1項に記載の方法。